



樹 姉 ば よ う

No.112
2014.2

慈悲喜捨

浪の音の

今朝から異に聞こゆるは

春の調べや改まるらむ

安倍清行朝臣

『古今和歌集』

耳に入ってくる波の音が、今朝から今までと違っているのは、立春と共に春の奏でる調べが、新しく改められ、調えられたためであろうか。

三日は節分、翌四日は立春である。冬至は一ヶ月以上も前に過ぎ、いくらか日も長く感じられるようになったが、一月末の大寒を過ぎ、二月は一年の中でも、最も寒く感じられる季節である。しかし、平安の時代の二月は、今の季節感で言えば三月末頃であろう。日も長くならず、気温も上がり過ぎしやすくなりつつあった頃である。そんな季節感の中、朝の目覚めと共に、波の音が昨日とは異なって聞こえるのは、気持ちの面からも、感覚の面からも春を感じられるようになったからであろう。こんな寒い二月であっても、立春と聞けば、暦の上の春の訪れと共に、気持ちの上では寒さが和らいで感じられる。梅は既に蕾を膨らませ、間もなく花開く気配をみせている。

梅が香に

のつと日の出る山路哉

芭蕉

立春を過ぎて残る寒い朝。梅の香が匂う山路には、何の前触れもなく朝日がひよっこりと昇ってくる。そんな時が間もなくやってくる。寒さを我慢するのもあと一時である。

記念館校舎一・三階の改修工事がほぼ終わった。大きな改修はトイレと教室であった。トイレは全て暖房便座を備えた洋式便器で、七割の便器にウオッシュレットを付けている。室内色は、一階はアイボリーの扉とピンク系の床、三階はブラウン系の床である。全体として明るく、かつ落ち着いた雰囲気となった。

また、一階には車いすや松葉杖使用者にも配慮した多目的トイレも設置した。

これらの施設は、一月八日の第三学期始業から使用している。また、教室も一階三教室、三階三教室が完成し、一月十一日の入学試験から使用している。現在も、記念館は三階に一教室、一階に進路指導室を置くための改修工事を進めているが、今月下旬には両方が完成する予定である。

教頭 尾内 正彰

私学振興会海外語学研修
「視察国の教育事情」
インタビュー(2)

樹徳中学校・高等学校校長
野口 秀樹



まもなく立春です。これから待ち遠しい春が少しずつやって参ります。

二月一日の一般試験が終了し、中高とも一息ついてる所です。とは言え、大受験生は只今が本番、寒さなんぞ何のその、燃えるような思いで入試に立ち向かっていきます。彼等の表情が喜びにはころぶことを願って、私も応援団長になったつもりで力一杯声援を送ります。

今月は中高ともスキー教室、中学校二年生は立志式が行われます。

さて、十二月号の続きとなりますが、今回はドイツとフランスの教育事情を報告します。

ドイツ・ミンヘン
RUDOLF STEINER
SCHULE ISMANING

私達が訪問した学校はシュタイナー教育を行う小中高一貫校です。子どもの体と心の発達に基づいて、十二年間の体系的なカリキュラムを持っておりました。その中で、七年間を成長の区切りとしています。子ども達の心や体は知性至上主義では育ちません。精神性を含めた全人教育を目指し、教育そのものが芸術行為であることを大切にしています。独特な教育理論のため、ドイツ国内でも賛否両論があります。

ここで、ドイツの教育制度に触れてみます。

ドイツでは、子供には「教育を受ける権利」と「就学する義務」があると考えます。したがって、大学まで授業料は無料です。

また、小学校四年が終了すると、その後の進路は三つの中から選択することになります。

一つはハウプトシューレ（職業教育）で、職業学校で三年間学びます。さらに勉強したければマイスターシューレに二年間通い、最終教育を受けるとマイスターになれるのですが、ここまで学ぶ生徒はごく少数です。

二つ目はレアルシューレ（専門高校）で、小学校七年生から入学します。さらに学びたいければ専門学校へ進むことができます。

三つ目はギムナジウム（大学進学を目指す普通科学校）で、日本で言う中高一貫校）で、音楽芸術大学、その他の大学進学です。

シュタイナー学校はドイツ教育法の単位基準を満たしていないために、ギムナジウムよりも一年多く学ばなければならぬという問題点があります。ただ、卒業後にアビトゥーア（アビドア）試験を受ければ、ギムナジウム卒業と同様に扱われ、大学に進学できます。

小学校の教科書は日本と同様に支給されます。しかし、学年が終わると次の人に渡さなければなりません。使用者の名前を書き込む欄があるので、今まで誰が使用してきたかが一目瞭然です。支給された教科書が自分の手に来たときには、必ずカバーをかけて使います。教科書への書き込みや落書きは厳禁。これはもちろん、次に使う人のためです

さて、視察校の話に戻ります。

幼稚園、小学校、中学校、高校が同一敷地内にあり、ここで約六百人の生徒が学んでいます。全員が通学生で、保護者との関わりが非常に深く、毎日の清掃は保護者が行っており、学校経営にも関係を持つようです。私学でありませんが、公の資金が七十%入っていると聞きました。

小学五年生の、音を身体で表す「オイリュトミー」と呼ばれる授業は、とてもすばらしいものでした。ピアノ奏者の先生、ダンスの先生、そしてクラス担任が立ち会っていました。まずは音階（ドレミファソラシド）をダンスで表します。そして次に母音と子音、生徒達がそれを見事にダンスで表現するのです。ダンス担当の先生の指導に、哲学的な、精神的な広がりを感じました。不思議な心地よさのあるものでした。

人間には心がある
心は勉強ばかりではなく、芸術でも育てることが
人は生きていくと必ず問題にぶつかる
問題は頭ばかりで解決するのではない
学校は人生の練習場
ここには困難がつきものである

これはダンスの先生の言葉です。

この学校では、一年生から十二年生までが一堂に会する発表会（学芸会）を、年二回行っています。学校全体が生きる共同体であるという意識を、生徒達に強く持たせたいという願いからです。私も同様の思いを持っております。

帰国後、シュタイナーの思想と教育法を学んでみました。一般的にシュタイナー学校は歓迎されませんが、シュタイナーの思想はオカルトなものとして捉えられ、敬遠されることもあるそうです。

明治維新後、日本の教育制度を作るために岩倉使節団がアメリカやヨーロッパ八カ国の教育制度の調査や視察に赴いた歴史があります。日本の近代教育のベールが今回の視察地にあった。そんなことを思いながら、学んで参りました。

合 掌

悔いなし

いまにうちこむ

仏の心

おせちに始まり、おもちを食べ、寝そべりながらのんびりと正月番組を見る生活が一週間も続き、身も心も「ゆるんだ」が、学校が始まって二週間も過ぎ、生徒たちはすっかり元の生活リズムを取り戻している。正月を引きずっているのは大人のほうで、おせちとおもち(さらにアルコールか)がなかなか身体から抜けず、「ゆるんだ」体を持って余している。

重くなった体を感じながら、ふと身を引き締めざるをえない文章を目にした。先代校長が以前、学校新聞で紹介した「マザーテレサ」の逸話である。

「ある時、一人の紳士がやってきて、『八人の子供を持つ家族が何日も食べていません。なんとかしてください』と言いました。私(マザー)はいくらかの米をその家族に渡しました。子供達の中からひどく飢えているのがわかりました。ところが、母親は私から受け取った米の半分を持って隣の家の家族に与えたのです。そして、驚く私にこう言いました。『あの人たちも飢えているのです』

私は彼女が米を与えたことに驚いたのではありません。彼女が、隣の人も飢えていたことを知っていたことに驚いたのです。自分が苦しんでいる最中には、他人のことを思いやることなどなかなかできません。しかし彼女は、隣人の苦しみを自分の苦しみとして知っていたのです。『うちのおかあさんは自分も美しいのに分かち合うほど偉い美しいおかあさんだ』と喜ぶ、その子供達の顔は、何にもまして美しく尊いものでした。」

この話を読んで、以前、テレビか新聞に写真付きで

紹介されていた話を思い出した。

「多くの民衆が飢えに苦しんでいる国に、救援物資が届けられた。子供達は皆一様にやせ細った手足にふくれた腹。典型的な栄養失調の姿である。二人の子供が並んで座っていた。年齢は二歳と三歳だったと思う。三歳の子に救援物資のパンが与えられた。するとその三歳の子はパンを二つにちぎり、隣の二歳の子の一つを渡し、二人で顔を見合わせてパンを食べ出したのである。」

子供と親の距離

(編集子)

「体を見て、ふと考えてしまったこの正月であった。」

子供を育てる上で大切なことは、「子供と適切な距離をとる」ことだと言われています。適切な距離は、子供の成長過程や個々の状況によって変化します。また、父性と母性、すなわち父親と母親とでも、子供との適切な距離が異なります。

この話を思い出すにつけて、目頭が熱くなるとともに、自分に対して言いようのない気まずさを感じる。不況だ何だといいながらも、現在の日本は経済的・物質的には実に豊かだ。そんな中で、我々は精神的に豊かであると言えるのだろうか。

仏心とは

大慈悲これなり

親の心を知れば やがて 仏の心もわかってくる

「樹妙」百三十一ページより

わずか三歳の子が持っている心を、自分は持ち合わせているのだろうか。「ゆ

がこの繰り返りに陥ってしまふことも珍しいことではないのです。

反抗期における母親の基本は、「優しく見守る」ことです。母親の中には、幼少期における子供との密着した関係から抜け出せず、いつになっても必要以上に干渉したり、保護を加えたりする人がいますが、そつとしておくことが大切なのであって、子供のほうから近寄ってくるのを待つという姿勢が必要なのです。

これに対する父親の基本は、「冷静に様子を見る」ことです。そして、人間として絶対に許されない言動などがあつた時に、毅然とした態度で子供に対応することが必要です。父親の存在は、このような場面でこそ示されなければなりません。

「付かず離れず」という言葉があります。父親と母親、それぞれが、「さじ加減」や「呼吸のとり方」に注意を払いながら行動することが肝心です。

(カウンセラー室)

インターアクトクラブ 歳末助け合い運動 一〇一万円余を 桐生市社会福祉協議会に納金

歳末助け合い
募金活動を終えて



IAC会長 新開 歩

樹徳高等学校インターアクトクラブの歳末助け合い募金活動が、十二月二日から二十六日までの活動期間を無事に満了できました。

募金活動は、学内はもちろん、街頭ではヤオコーさん、桐生駅、MEGADON・キホーテさん、花清さん、桐生ガスプラザさん前で行いました。約一ヶ月にわたって各地でお預かり致しました浄財は、総額で百一万二千七百八十二円となり、皆様のお陰さまをもちまして、目標額としていた百万円を上回る事ができました。

ご支援下さいました方々



桐生南RCの皆様との募金活動

申上げます。なお、お預かりいたしました浄財は昨年、十二月十七日に、全額、桐生市社会福祉協議会に納金させていただきました。皆様からお寄せいただきました温かなお気持ちを、桐生地域で支援を必要としている方や各施設への援助として役立てていただきたいと思います。

には、わざわざ車を停めて募金をして下さる方や、あたたかな言葉と共にご支援下さった方もいらっしゃいました。募金活動を通して、活動をしている私たちまでもが、皆様の温かさに包まれたような気持ちになり、そのことが歳末の厳しい寒さにも耐える心の支えとなりました。皆様のご支援に、深く感謝

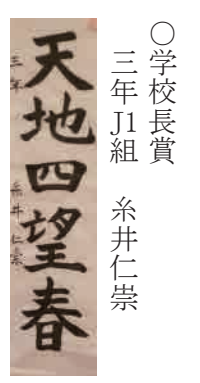
には、わざわざ車を停めて募金をして下さる方や、あたたかな言葉と共にご支援下さった方もいらっしゃいました。募金活動を通して、活動をしている私たちまでもが、皆様の温かさに包まれたような気持ちになり、そのことが歳末の厳しい寒さにも耐える心の支えとなりました。皆様のご支援に、深く感謝

中央共同募金会より感謝状の授与



毎年の恒例行事となった、樹徳高等学校インターアクトクラブの歳末助け合い募金活動へお寄せいただきました。皆様のお気持ちに改めて感謝申し上げます。今後とも活動へのご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

校内書き初め大会
今年も校内書き初め大会が盛大に開催されました。参加者それぞれが「書き初め」を通じて、健全な心身と豊かな心情を養い、併せて、伝統文化への理解を深める新年恒例の行事です。



○学校長賞
三年J1組 糸井仁崇

○最優秀賞
三年J2組 浜岡有人

- 優秀賞
- 三年k組 丹羽真実子
 - 三年J3組 高瀬晃平
 - 二年k組 望月由佳
 - 五年一組 岩瀬瑞季
 - 五年一組 中山匠美
 - 五年二組 菅野綾香
 - 五年二組 田口大輔
 - 四年二組 明瀬里穂



鏡開き

鏡開きとは、正月に神仏に供えた鏡餅を下げて食べる、日本の年中行事です。神仏に感謝し、また、無病息災などを祈って、供えられたものをいただきます。

今年も家庭科コースの生徒が運動部の生徒の活躍を願い、おいしいお汁粉を振る舞いました。



甘くておいしいお汁粉。ごちそうさまでした！

校内書き初め大会・
鏡開き今年も盛大に！

進路指導部より

アンデルセン選手のこと

最後まで全力を尽くす努力を



進路指導主任 狩野 剛

今年もまた大学入試シーズンのピークが近づいてきました。受験生にとって最も重要な行事が、最も寒い時期に行われます。風邪をひかぬよう十分に注意するなど、受験生の皆さんは万全の態勢を整え、試験に臨むことを第一に考えてください。受験は、他者との戦いのように思っている人が多いようですが、実は自分との戦いなのです。それも届かどうか分からないゴールに向かって走っているのですから、受験生が受けるプレッシャーには相当なものがありません。しかし、その辛さに耐えて、最後まで諦めなかった人のみが

神は微笑み、また、その姿が人々に感動を与えます。

三十年前、一九八四年のことです。アメリカのロサンゼルスでオリンピックが開催され、初めての公式種目として女子のマラソンが実施されました。優勝者はアメリカのジョーン・ベノイト選手で、スタンドは地元選手の活躍に大騒ぎになりました。その後、ゴールには、ベノイト選手に続いて次々に選手が入り、観客たちは、競技は終了したと思っていました。

しかし、その時です。一人の選手が競技場に入ってきました。まるで酔っ払いのような千鳥足で、今にも倒れてしまいそうです。何人かの競技役員が心配そうに彼女を取り囲みましたが、誰も彼女に手が出せません。触れれば彼女が失格となってしまうからです。が、そのことよりも、着実にトラックを回る彼女の姿

に、競技役員たちは、ゴールを目指す明確な意志を感じ取っていたのです。観客の中には、滑稽にも見える彼女の動きに、笑っている人もいました。しかし、まもなくスタンドは驚嘆のどよめきと万雷の拍手で埋まっていきました。

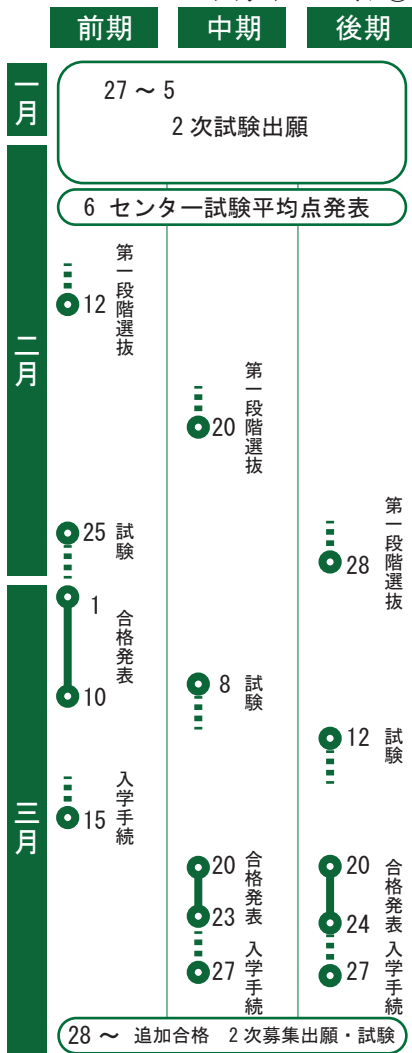
競技終了後に知らされたことですが、彼女は、酷暑のために強い脱水症状を起し、レースの後半は、ほとんど意識がありませんでした。彼女の名はガブリエラ・アンデルセン。スイスから参加した選手でした。アンデルセン選手には、優勝したベノイト選手よりも大きな拍手が送られました。しかし、それは彼女を慰めるために送られたものではありません。アンデル

セン選手は、「人として最も大切なことは、最後まで全力を尽くして努力することだ」ということを、身を以て示してくれたのです。観客は、感謝の思いを込めて健闘を讃え、同時に、「私も、あなたのように最後まで頑張ります」というメッセージを送ったのでしよう。

受験生の皆さんは、多くの人たちに見守られ応援されて今を迎えました。優勝に値する結果を出すことが一番の恩返しですが、結果を保証することは誰にもできません。でも、皆さんは、最後まで諦めないでください。努力は、長い人生のどこかで必ず報われます。あなたなら、きっとアンデルセン選手のように行動でき

るはずですよ。あなたに続く後輩たちにも、勇気と感動を与えてください。
(進路指導部)

○国公立大学入学試験のスケジュール○



■樹徳コミュニティセンター
「み法」の2月の予定

○開催日： 8日(土)
15日(土)
22日(土)

○営業時間：11:00～16:00

○販売実習の販売品目
相田みつをグッズ、
樹徳高等学校「心の暦」
アクセサリー
感謝の出汁 (かつお節)

桐生錦町一丁目 盛運橋薬局前

一貫校

中学校

だより

「生き方教室」

昨年の十二月十日に、保護者による生き方教室が開催されました。今回は社会保険労務士で、後援会長でもある杉戸健二先生をお招きし、『私の職業観』について講演して頂きました。

大学時代にも応援団を続けていた杉戸先生は、その精神を現在の仕事にも反映させていらつしやいます。名刺に書かれた「お客様の『志』を応援し、『発展』をサポートする」という言葉から、これまで培ってきた精神を生徒も感じとったようです。



とても響いたようで、将来の職業や夢を具体的に考えるきっかけともなりました。これから中学二年生は立志式を迎えます。生徒たちの将来の展望がとても楽しみです。

ダンス部 校内発表会



昨年十二月二十五日、学校講堂にてダンス部による

発表会がありました。

今年度のダンス部は夏季総合体育大会県大会出場や全国から選ばれた中高生ダンスチームがアーティストと同じステージに立っているシグマフェスティバルへの参加など、大きな舞台を体験しながら少しずつ技術を高めています。

この発表会では衣装にもこだわり、日頃の練習の成

果を存分に発揮してくれました。

更にシグマフェスティバルで発表したダンス

も披露。身体のキレを要する振り付けも練習を重ねた成果が現れていました。

また、引退した三年生も発表会に参加してくれました。堂々たるMCやダンスを披露してくれ、改めて先輩から学んだこともあったでしょう。

ダンス部には、いつしか伝統となり引き継がれている楽曲があります。その一曲は現在の一貫校に在籍している元ダンス部員が全員踊れるのです。人数が増えた今でも欠かさず、後輩へと繋げていきます。



1年生のダンス



シグマフェス楽曲

相談室よ!

今後も新風を吹かしてくるであろうダンス部に期待が高まります。

本校の教育方針の一つに「みんなのために私もお役に立ちたい」という自然な欲求、使命感の芽生えを体得する」があります。その実践として、困っている仲間を支援するピア・サポート活動を取り入れています。昨年度からは、LHRを利用して学年の先生方と協力し、全員がピアサポーターになれるようトレーニングを行っています。主な内容をご紹介します。

- 一学年
- ・アサーショントレーニング(自己表現法)
- ・エゴグラム(性格診断)
- ・ジョハリの窓(自己分析)
- 二学年
- ・思春期の課題と
- ・トラブル解決支援
- ・カウンセリングの基礎

私が生徒と向かい合う時、大切にしている言葉があります。それは「みんなちがって、みんないい」と

いうものです。これは金子みすゞの詩の中に出てくる言葉で、すべての人に長所があり、それは一人一人違っているという意味を含んでいます。

中高生の時期は自分探しの時期でもあります。対人関係や個人の悩みに加えて傷つくことを恐れ、自分の気持ちを抱えきれず、自分の花を咲かせるため、あるがままの自分を信じて頑張れる人に成長してほしいと願っています。

(一貫校カウンセラー 高久保晴美)

平成 26 年度 樹徳中学校入学試験

いよいよ最後の入試となりました。出願はまだ間に合います!

◆樹徳中学校 第3期入学試験

26年2月8日(土)

出願期間 平成 25年2月3日(月)

~2月6日(木)

お問い合わせは Tel 0277-45-2257

幼稚園だより

行事と保育の一貫性

発表会に向けて

一月八日、三学期の開始とともに、二月一日（土）に行われる「なかよし発表会」の練習が本格的に始まりました。各学年とも順調に進み、現在は総仕上げの時期に入っております。

《年少》

○お遊戯「ネコニヤンニヤンニヤン イヌワンワン



発表会練習の様子

ワン カエルもアヒルもガアガアガア」他

○歌・合奏「こねこのぱんやさん」他

・劇遊び「おおかみとなかよしのこやぎ」

《年中》

○お遊戯「勇気一〇〇%」他

○劇遊び「ねずみのよめいり」

○歌・合奏「線路は続くよどこまでも」他

○ピアノ演奏「やぎさんゆうびん」他

《年長》

○お遊戯「たらこたらこたらこ」

○オペレッタ「(竹)ありとときりぎりす・(菊)こぶとりじいさん」

○歌・合奏「ドキ・ドキ・ドン！一年生」他

《年中・年長》

○合同合奏「聖者の行進」他
盛りだくさんで大変ですが、がんばっています。

この発表会を、園として一年間の総まとめと位置づけておりますが、練習をとおして子どもたちは大きく・確実に成長しています。年少さんは、語彙が増え、言葉をとおしてのコミュニケーションがスムーズにできるようなったり、友だちとの遊びも活発になり、練習への取り組みをみると、一年間でこんなにも成長するものかと驚きます。

年中さんは、練習をとおして集中力がつき、先生の指示に対して素早くきびきびと動けるようになり、また姿勢が大変良くなりました。年長さんとの合同練習でも、とても良い刺激を受けて成長しています。

年長さんは、オペレッタ等の練習では、友だちの気持ちをくみ取るなど、一人ひとりがタイミングを図ったり、協力しながら取り組む姿勢がみられ、一つのものによりよく、みんなで作り上げようと取り組んでいます。常に前向きに取り組む姿勢から、成長だけでなく「頼もしさ」をも感じられます。

発表会の目的は、○みんなで役をもって、そのものになりきった表現をすること
○仲間と一緒に遊ぶ楽しさを味わわせること

発表会練習の様子



○体を動かして集団遊びをすること

などです。そして、発表会は一年間の保育のまとめでもあり、子どもたち一人ひとりの成長を保護者に見てもらうことにもあります。

本園では、二ヶ月に一度のお誕生会、茶臼山登山、夏祭り、お泊まり会、運動会、親子遠足、クリスマス会等、中心行事として目的をしっかりと持って、子どもたちが確実に成長できるように、計画的・意図的に実施しております。さらに、発表会は、今まで積み重ねてきた成果がどうだったかという、まとめでもあります。

また、仏教行事（花祭り・成道会・節分会・涅槃会）や、お茶のお稽古等に取り組むことで、子どもたちの情操を育み礼儀作法等を身につ

け、品格のある、健やかな成長に大いに役立っています。

これらの行事と毎日の保育の中での関連を常に意識し、どの行事にあたるときでも、保育に対する一貫性と、子どもの成長について、常に教職員で共通理解を図り、子どもの成長を支援にしていきたいと思えます。これからも、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

幼稚園長 瀬谷 茂

入園願書受付中

満三歳入園生は誕生日以降であればすぐに入園できます。

まずはご来園くださるか、お電話にてお問い合わせ下さい。

入園願書は、樹徳高校・樹徳中学校にも用意しておりますのでご利用ください。

○お問い合わせは

樹徳幼稚園まで

住所 広沢町3-4475

電話 0277-531571

2月(忍辱)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一貫校	幼稚園
1	土	一般入学試験 ビジネス文書実務検定③		なかよし発表会
2	日	一般入学試験採点		
3	月	代休(2/2)	願書受付(～6日) 挨拶運動	大善寺節分会
4	火	一般入試審査会 珠算練習開始	計算機ビュウ⑥	代休(1日分)
5	水	校内基礎学力テスト③ 1年生ｽｰ教室一斉指導 マイトリ-基金抛金日		英語(全) 文字と数(年長)
6	木		漢字王決定戦⑬ 立志式	体育(全) 文字と数(年中)
7	金	担任宛成績提出(3年)	論理文章能力検定	入園生活説明会
8	土	漢字検定③ 2年生進研マーク模試(～9日)	中学第三期入学試験 漢字検定	
9	日	1年生代ゼミンク-模試 堀マソン	堀マソン	
10	月	LHR 3年生登校日 教務宛成績提出	挨拶運動	リズム(全) 線(年少)
11	火	建国記念の日		
12	水	一般入試合格発表 卒業褒賞関係候補者成績会議	計算機ビュウ⑦	英語(全) 文字と数(年長)
13	木			体育(全) 文字と数(年中)
14	金	卒業成績会議		2・3月生まれ誕生会
15	土	数学検定②	入学説明会②	
16	日	全経簿記検定③		
17	月	1年生男子ｽｰ教室(～18日)	挨拶運動	リズム(全) 線(年少)
18	火			涅槃会(大善寺)
19	水	1年生女子ｽｰ教室(～20日)	中1・中2合同ｽｰ教室(～21日)	英語(全) 文字と数(年長)
20	木		漢字王決定戦⑭	体育(全) 文字と数(年中)
21	金	写真撮影(1・2年生)		
22	土	第2回入学手続き 職員出勤日		
23	日	英語検定③二次 日商簿記検定③		
24	月	男女合同朝礼 珠算競技(～26日)		新入園児入園体験日 リズム(全) 線(年少)
25	火		早期自主学习(～3月6日) 計算機ビュウ⑧	
26	水	ITS研修⑥		英語(全) 文字と数(年長)
27	木	大掃除 卒業式会場作成 漢字練習開始		お茶のお稽古(年長) 体育(全) 文字と数(年中)
28	金	卒業式予行演習 予餞会 出欠統計		

※ 1日は高等学校・一貫校・幼稚園の校内安全点検日です



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 Fax 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL. 0277-45-2257 Fax. 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 Fax 0277-53-5572

E-mail office@po.jutoku.ed.jp URL http://www.jutoku.ed.jp/

発行責任者 野口秀樹
印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく